

月刊 工連ニュース

OKINAWA
INDUSTRIAL FEDERATION NEWS



沖縄県産品マーク

2016年 県産品奨励月間標語
第40回 沖縄の産業まつりテーマ

「じょうとーむん 使うよろこび 県産品」

優れた発想から
県民へ貢献するために

- ボイスシリーズ
県内製造業の新たな取り組み

沖縄県工業技術センター 所長 安里 厚

- 2016年 県産品奨励月間要請活動
- 「元気カンパニー」沖縄県コンクリート二次製品協同組合

2016
8月号
Vol.621

県内唯一!

サッシ形材製造



沖縄の気候風土に合った製品を提供！

Aerial view of the Hotel Orion Motobu Resort & Spa, showing its modern architecture and surrounding greenery. A speech bubble at the bottom left points to the text 'モトブオリオンリゾート&スパ、那覇新都心リューキュスタワー、リーガロイヤルグラン沖縄の施設等で我が社の製品が採用されています!'.

サッシ。
雨戸の事なら

金秀アルミに

お・ま・か・せ♪

モトブオリオンリゾート&スパ、那覇新都心リューキュスタワー、
リーガロイヤルグラン沖縄の施設等で我が社の製品が採用されています!

那覇新都心に完成した地上30階建ての「リューキュスタワーマンション」で採用されました主力製品「ハイバーサッシ」は、当社風洞試験において「96m/秒」相当の風圧に耐えられる事が実証されています。



金秀アルミ工業株式会社
<http://kanehide-alumi.com/>

管理本部 098-835-8100
営業本部 098-835-8101・8102
生産本部 098-835-8104・8105

voice vol.110
2p 県内製造業の新たな取り組み
沖縄県工業技術センター 所長 安里 厚

3p 工連、台湾経済団体とMOU締結

2016年 県産品奨励月間
4~10p 県産品の自給率向上は県内の産業と
雇用に大きな効果を生み出す
●要請書特記事項

11p 主要建設資材の県産品使用状況
●那覇市・豊見城市・浦添市・北谷町・北中城村

12・13p 協賛企業広告一覧

ふるさと企業 県産建材・リサイクル関連企業
14・15p 県内企業訪問
沖縄県・(公社)沖縄県工業連合会

キラリ! 元気カンパニー「沖縄の未来を照らす企業」
16・17p 地域をバリアフリーに「ゆいバーサル縁石」開発
沖縄県コンクリート二次製品協同組合

18p 沖縄の物産と観光フェアinイオンライカム
平成28年度沖縄県産業・雇用拡大県民運動
推進功労者表彰に係る受賞者の決定

19p 沖縄県との県産建設資材
優先使用に関する意見交換会
(公社)沖縄県工業連合会

20p 第45回沖縄県発明くふう展 出展作品募集
(一社)沖縄県発明協会

琉球大学工学部後援会からのお知らせ
21p 琉球大学医学部との共同研究について

沖縄職業能力開発大学校

22p 物流情報科のご案内

沖縄高専より

23p 定期技術相談会
地域連携推進センター長挨拶
8月のイベント

工業技術センターだより
24p 企業の皆様 ゼひ使ってください!
新たに設置した精密万能試験機と構造・流体解析システムの紹介

25p 知財総合支援窓口のごあんない

2016年 7月 工連日誌

- 1日(金) 学校給食における児童生徒を囲んでの昼食会
●時間／12:50～13:45 ●場所／南城市立知念中学校
街頭キャンペーン及びセレモニー
●時間／16:00～17:00 ●場所／国際通り・県庁前県民広場
- 4日(月) 国・県関係機関への要請
- 5日(火) 国・県関係出先機関への要請
- 6日(水) 食品・建材大口需要者への要請
- 7日(木) 本島内市町村・議会への要請(～7月11日まで)

- 12日(火) 離島市町村・議会への要請(～7月19日まで)
- 20日(水) ふるさと企業訪問
対象：県産品奨励月間実行委員会構成団体、グッジョブ構成団体
- 22日(金) 県産建材・リサイクル関連企業訪問
対象：県・市町村の土木建築担当課職員、建築設計関連団体職員、企業
- 27日(水) ふるさと企業訪問
対象：新聞公募による一般消費者(親子)
- 29日(金) 沖縄県との県産建設資材優先使用に関する意見交換会
●時間／14:00～15:30 ●場所／沖縄県庁

知財総合支援窓口運営業務

知財総合支援窓口

中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。

相談
無料

秘密
厳守

個別対応のため予約が必要です

ワンストップサービス

- 知財専門家が窓口に常駐
- 知財専門家を派遣
- 知財ニーズの掘り起こし
- 知財に関する支援策の紹介
- インターネット出願を支援

中小企業・個人事業主・創業予定の個人の皆さまの特許、実用新案、意匠、商標、著作権等に関するご相談を無料でお受けしております。

※ご相談いただいた内容が第三者に知られる事はありません。

※詳しい日時に關してはお問合せください。

- うるま窓口(うるま) 毎週 月～金(祝祭日を除く)/9:00～17:00
- 外部窓口(那覇) 毎週 火・水(祝祭日を除く)/9:00～17:00
- 外部窓口(名護) 每月 第4火曜日/9:00～17:00
- 外部窓口(宮古) 奇数月 第4金曜日/10:00～17:00
- 外部窓口(八重山) 偶数月 第4金曜日/10:00～17:00



全国共通お問い合わせ先



0570-082100 (有料) TEL 098-995-8778 ■独立行政法人 工業所有権情報・研修館事業 /
実施：一般社団法人沖縄県発明協会

公益社団法人沖縄県工業連合会は「沖縄の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの活動を通して、沖縄経済の自立化を目指しています。
●工連ニュースへのご意見ご要望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。
E-mail://info@okikouren.or.jp ホームページ//http://www.okikouren.or.jp

発行所／公益社団法人 沖縄県工業連合会
那覇市字小禄1831-1沖縄産業支援センター6F
電話(098)859-6191 FAX(098)859-6193
編集・印刷／有限会社サン印刷 電話(098)889-3679

県内製造業の新たな取り組み

沖縄県工業技術センター
所長 安里 厚

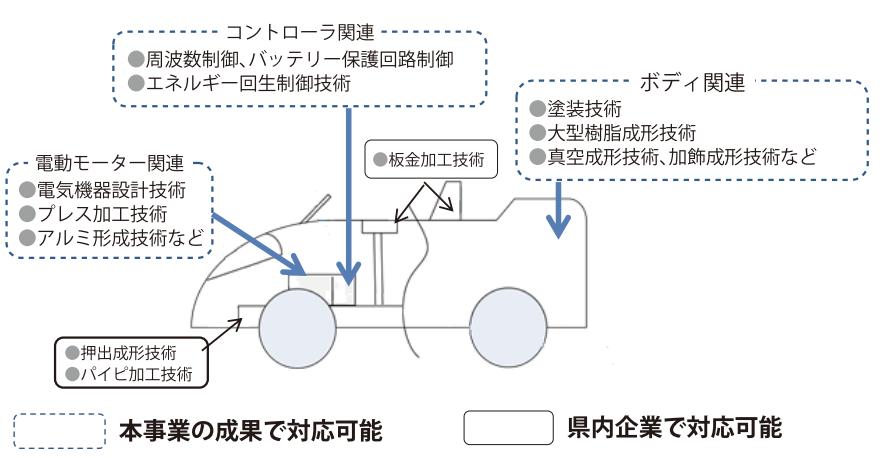
沖縄県工業連合会並びに会員の皆様には、日頃より工業技術センターの利用並びに業務運営にご協力を賜りありがとうございます。

皆さんもご存じの通り、工業技術センターが位置する「国際物流拠点産業集積地域うるま・沖縄地区」では、機械器具製造業や情報通信産業などの企業誘致が進んでいます。また、金型技術研究センターを含む素形材産業振興施設が増設され、金型や金属加工など、いわゆるサポートティング産業が集積しつつあります。これらサポートティング産業は製造業の基盤を担うものであり、高度化を図ることで、沖縄の製造業全体の底上げにつながると言えます。そこでセンターでは、今年度より「沖縄サポーティング産業高度化事業」に

て、コミュニケーション技術の開発研究に取り組みはじめました。コミュニケーション技術とは、公道ではなくホテルや公園、ショッピングモールなどで広く使われている、電動車の開発に必要な研究としては、電動モーターの設計やコントローラーの制御技術の開発、ボディ関連の研究がありますが、これらは今回県内でも初めて取り組む分野です。センターと周辺企業が連携して研究を行うことにより、県内では確立されていないこれらの技術を蓄積することが本事業の目的であり、併せてその波及効果として技術者の育成が図られるものと考えています。

野だけではなく、将来は食品加工装

置や大型樹脂成形品といった他分野への展開の効果が期待できるものです。県内製造業の発展を図るべく、コミュニケーション技術の開発研究を手始めに、他機関とも連携しながら、研究開発や技術支援の基盤整備に取り組んで参ります。また、本事業だけでなく皆様の技術課題の解決を図る手段として、専門知識や技術の習得を図るなど、当センターを皆様の「研究室」として利用いただきたいと考えております。今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻とともに、当センターをご活用いただきまますようお願いを申し上げます。



工連、台湾経済団体とMOU締結

平成28年6月17日(金)

6月17日、台北市の台北国際会議センターにおいて、沖縄側は沖縄県工業連合会と南西地域産業活性化センター（石嶺伝一郎会長）、台湾側は経済団体・台日商務交流協進会とシンクタンク・台湾経済研究院（いずれも江丙坤理事長）の4者で連携協定書の覚書（MOU）を締結した。南西地域産業活性化センターが長年、台湾経済研究院と経済フォーラムを続けており、この繋がりをさらににより良く発展させるよう今回のMOU締結に至った。工連としては、初の海外連携協定である。協定の目的は、双方がものづくり産業の交流を活発化することで、技術協力による商品開発や貿易拡大、両地域への投資などを促進することである。

最近、県内製造業と台湾との実質的ビジネスが進んでいる。2014年、（株）トリムは人工軽石（スーパーソル）の製造プラントを台湾・新平市に輸出納入した。今後もさらに2基を輸出する計画を進めている。オリオンビール（株）は長年台湾にビールを輸出して実績を重ねてきたことから、去る2月に台湾事務所を開設した。オキコ（株）は2015年台湾ファミリーマートとパン製造の合弁会社を設立した。吳屋工連会長はMOU締結の意義について、下記のように述べた。

「今後の成長が期待できるものづくり分野に産業・貿易のビジネス交流を促進させたい」と台湾の経済交流が大きく発展することを期待したい。

て両地域の経済発展に寄与する。ものづくり産業の交流を強く意識した内容で参画する意義がある。沖縄独特の亜熱帯、島しょ性の自然環境で培われた技術の下に生み出された製品や技術は、同様な自然環境にある台湾でも受け入れられる可能性がある。「台湾企業は東南アジア市場におけるマーケティング力を培っており、県内企業はその販売ルートを活用できる。とりわけ、蔡英文新総統は、中国二極集中型から多極マーケット型への政策変更を目指し、「新南向政策」を進めている。台湾の力を大いに活用したい。」「県内ものづくり産業は人的、技術的、資本的資源が限られるなどの制約がある。MOU締結により国と県による統一的な支援を得られる交流活動となり、より多くの県内企業が台湾市場へ進出することが期待できる。」

台日商務交流協進会・台湾経済研究院の江丙坤理事長は「沖縄は地理的、歴史的に非常に台湾に近い。台湾にとって沖縄は友人。台湾企業が沖縄でモノを製造すれば日本本土にも出荷できるし、メイド・イン・ジャパンの製品として輸出もできる。MOUを通して、台湾企業の沖縄への理解を深め、投資を増やしていきたい。」と述べた。

今回のMOU締結を契機として、工連



(公社)沖縄県工業連合会 吳屋守章 会長(左から3人目)、台日商務交流協進會 江丙坤 理事長(左から4人目)、南西地域産業活性化センター 石嶺伝一郎 会長(右から2人目)

要請訪問 7月4日(月)・5日(火)



県知事



県教育長



県企業局長



県議会議長



沖縄総合事務局長



沖縄振興開発金融公庫



(一社)沖縄県銀行協会



JA沖縄中央会



JAおきなわ

全国共済農業協同組合連合会
沖縄県支部

今年も7月1日(金)の街頭キャンペーンを皮切りに「2016年県産品奨励月間」がスタートし、7月31日(日)までの期間中、県産品奨励に関する各種事業や広報キャンペーンが実施されました。

同事業の一環として7月4日(月)から行われた、県産品使用奨励についての要請活動では、沖縄県工業連合会、沖縄県商工会連合会、沖縄県商工会所連合会5団体の役員並びに会員企業が参加し、国や県、市町村、議会、食品・建材の大口需要者など143カ所に対して、県内企業への優先発注及び県産品の優先使用を要請しました。

要請団は「県産品奨励運動は、県産品の需要拡大を図ることで、県内企業の育成強化と雇用の拡大を促進し、もって県経済の活性化を推進することを目的として業界、行政及び消費者団体などが一体となって進めている活動である」とし、県産品愛用運動の重要性を述べました。また、本県の高い失業率を引き下げるために県を中心に団体・企業、教育機関など県民一体となって取り組んでいる「みんなでグッジョブ運動」においても、「県産品愛用運動」が雇用拡大の重要な事業として位置づけられていることを説明。さらに、県内で派生する廃棄物は、本県が島嶼地域であるために深刻な環境問題を引き起こしている。この問題の解決のためにも、県内リサイクル資材・製品についても優先使用が必要であることを訴えました。

最後に要請団は、業界の生産技術及び品質の向上に向けてさらなる努力約束と、県内企業への優先発注及び県産品の優先使用についての協力を改めて呼びかけました。各要請先では、要請の内容に対し多くの理解を得ることができました。

県産品の自給率向上が県内の産業と雇用に大きな効果を生み出すことについては、最新のデーターを基にシミュレーションした結果、自給率が3%伸びた場合の生産誘発額が約460億円。雇用者数で約5千人の経済効果があることが証明されています。

従つて、本県の経済を安定させ、自立型経済を確立するためには、地場産業の振興を図ることが最も有効な手段といえます。



県内の産業と雇用に大きな効果を生み出す



「県産品奨励月間」は、復帰前の島産品愛用運動から50余り続いている事実。県民一人ひとりが県産品を愛用するという、身近な事から行動に移せる運動であり、最終的には自立経済へ結びつく大きな一步となっています。今後も継続していくかなければならない重要な運動です。



航空自衛隊那覇基地



海上自衛隊第5航空群



陸上自衛隊那覇駐屯地



(一財)防衛弘済会



南部土木事務所



南部農林土木事務所



那覇港湾・空港整備事務所



南部国道事務所



中部土木事務所



中部農林土木事務所

2016年 県産品奨励月間 要請書特記事項

要請先	要請団体	要請項目
沖縄県 (企業局・教育庁)	沖縄県工業連合会 沖縄県JIS協会 沖縄県酒造組合 沖縄県商工会連合会 沖縄県商工会議所連合会 〔5団体〕	公共工事発注の際の特記仕様書の中に「県産リサイクル資材の優先使用」を明記していただき感謝を申し上げます。今後とも県内で製造されたリサイクル製品の使用についてもご配慮賜りますよう併せてお願い申し上げます。 製造業以外のサービス業を含めました他の業種まで適用が可能となるよう「県内企業の優先発注及び県産品優先使用の基本方針」の改定について、ご検討下さいますようお願い申し上げます。
県議会	〔5団体〕	今後も引き続き県産品の優先使用について啓蒙啓発に努めていただきますようお願い申し上げます。
沖縄総合事務局 (農林・開建・経産)	〔5団体〕	1.公共工事の執行にあたっては、県内企業へ優先発注するとともに県産建設資材の優先使用を徹底していただきますようお願い申し上げます。 2.貴機関で使用する物品等の購入について県産品を優先使用していただきますようご配慮をお願い申し上げます。
沖縄振興開発金融公庫 沖縄県銀行協会	〔5団体〕	企業等への融資に際し、県内企業への優先発注及び県産品の優先使用について奨励していただきますようお願い申し上げます。
自衛隊 (航空・海上・陸上) 防衛弘済会	〔5団体〕	1.公共工事の発注にあたっては、地元企業を優先すると同時に特記仕様書に県産品の優先使用を明記していただきますようお願い申し上げます。 2.貴自衛隊が発注する消費関連商品についても県産品の優先使用を徹底していただきますようお願い申し上げます。 (防衛弘済会) 貴会が発注する消費関連商品につきましては県産品の優先使用を徹底していただきますようお願い申し上げます。
JA JA中央会 JAおきなわ 共済連 沖縄県花卉園芸農業協同組合	〔5団体〕	1.貴JA(組合)が発注する施設等の建設工事及び農業関連資材並びに肥料、飼料等について県産品の優先使用を徹底していただきますようお願い申し上げます。 2.貴JA(組合)が主催する各種行事において購入される消費関連商品については、県産品の優先使用を徹底していただきますようご配慮をお願い申し上げます。 (JAおきなわ) 3.Aコープ等において、積極的に県産品の販路開拓に努めていただくと共に「県産品」の表示についてご配慮をお願い申し上げます。
国関係出先機関 ※離島含む	〔5団体〕	1.公共工事の執行にあたっては、県内企業へ優先発注するとともに県産建設資材の優先使用を徹底していただきますようお願い申し上げます。 2.貴機関で使用する物品等の購入について県産品を優先使用していただきますようご配慮をお願い申し上げます。
県関係出先機関 ※離島含む	〔5団体〕	1.昭和59年7月3日、県当局が策定いたしました「県内企業への優先発注及び県産品の優先使用基本方針」に基づき、県産建設資材等を優先的にご使用いただいていることとは存じますが今後とも、なお一層徹底していただきますようお願い申し上げます。 2.現在、県が施行している「沖縄県リサイクル資材評価認定制度」に基づき、公共工事発注の際には、特記仕様書の中に「県産リサイクル資材の優先使用」を明記していただいておりますが、今後とも徹底していただきますようお願い申し上げます。



要請訪問 7月5日(火)・6日(水)

2016年 県産品奨励月間

県産品の自給率向上は県内の産業と雇用に大きな効果を生み出す



沖縄防衛局



北部土木事務所

北部農林水産
振興センター北部ダム
統合管理事務所

北部国道事務所



国営沖縄記念公園事務所



日本郵便(株)沖縄支社



イオン琉球(株)



(株)丸大



金秀商事(株)



(株)リワボウインダストリー



(株)リワボウストア



沖縄県学校給食会



沖縄県学校栄養士会



(一社)沖縄県ホテル協会



(株)沖縄ファミリーマート

沖縄県ホテル旅館
衛生同業組合

コーポおきなわ



(株)サンエー



(株)ローソン

(一社)沖縄県測量建設
コンサルタント協会(一社)沖縄県電気管
工事業協会

(一社)沖縄県建設業協会

(一社)沖縄県建築士
事務所協会

(公社)沖縄建築士会

鉄のリサイクルを通して
社会に貢献する
沖縄唯一の電炉メーカー
(ISO9001 審査登録)



拓南製鐵 株式会社
会社

代表取締役社長 古波津 昇

本 社 那霸市壺川3-2-4 ☎ 098-832-0588
新 中 城 工 場 沖縄市海邦町3-26 ☎ 098-934-6822
石 灰 工 場 名護市字安和 2656-2 ☎ 0980-53-8018

県産品を愛用しましょう。

郷土の資源で郷土をつくる

琉球セメント

代表取締役社長 西 村 聰

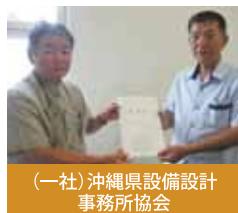
要請訪問 7月6日(水)・7日(木)

2016年 県産品奨励月間



県産品の自給率向上は県内の産業と雇用に大きな効果を生み出す

要請先	要請団体	要請項目
食品大口需要者	(5団体)	県産品コーナーの設置や県産品の表示をするなど、県産品の販路拡大についてご配慮を賜りますようお願い申し上げます。
日本郵便沖縄支社	(5団体)	1.貴社が発注する消費関連商品につきましては県産品の優先使用を徹底していただきますようお願い申し上げます。 2.ふるさと小包等において、積極的に県産品の販路開拓に努めていただきますようご配慮をお願い申し上げます。
沖縄県学校給食会 沖縄県学校栄養士会	※酒造組合除く (4団体)	学校給食の食材について県産品を優先使用していただきますよう特段のご配慮をお願い申し上げます。
NTT西日本沖縄支店 沖縄電力	(5団体)	工事の施工にあたっては、県内企業を優先するとともに特記仕様書に県産品の優先使用を明記していただきますようお願い申し上げます。
沖縄県建設業協会 沖縄県電気管工事業協会	(5団体)	公共工事及び民間工事の施工にあたっては、県産建設資材の優先使用について特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。
沖縄県建築士会 沖縄県建築士事務所協会 沖縄県設備設計事務所協会 沖縄県測量建設コンサルタンツ協会 沖縄県土地改良事業連合会	(5団体)	公共工事及び民間工事の設計にあたっては、県産建設資材の優先使用を特記仕様書に明記していただきますようご配慮をお願い申し上げます。
マイクマン 佐久本工機 金秀興産(カインズホーム)	(5団体)	県産資材並びに再生資源等を用いて製造された「県産リサイクル資材」(ゆいくる材)の取り扱いについてご配慮賜りますようお願い申し上げます。



(一社)沖縄県設備設計事務所協会



沖縄県土地改良事業団連合会



(株)マイクマン



沖縄電力(株)



(株)佐久本工機



NTT西日本沖縄支店



金秀興産(株)



那覇市



那覇市議会



豊見城市



豊見城市議会



糸満市



糸満市議会



八重瀬町



八重瀬町議会



南城市



南城市議会



与那原町



与那原町議会



南風原町

要請訪問 7月7日(木)・8日(金)・11日(月)

2016年 県産品奨励月間



県産品の自給率向上は県内の産業と雇用に大きな効果を生み出す

要 請 先	要 請 団 体	要 請 項 目
市町村 (41か所)		<p>1.公共工事の発注にあたっては、地元企業を優先すると同時に特記仕様書に明記してある県産建設資材の優先使用について業者への指導を徹底していただきますようお願い申し上げます。</p> <p>2.特記仕様書の中に沖縄県が認定した「県産リサイクル資材」(ゆいくる材)の優先使用を追加して記していただきますようお願い申し上げます。</p> <p>3.再生資源等を用いて製造された「県産リサイクル製品」について優先使用していただきますようお願い申し上げます。</p> <p>4.貴市町村で使用する物品等について県産品を優先使用していただき、同時に市町村民にも県産品の優先使用の意義を啓蒙していただきますようお願い申し上げます。</p>
	[5団体]	
市町村議会 (41か所)		<p>県産品の優先使用について、議会で決議していただき県産品の啓蒙啓発に努めていただきますようお願い申し上げます。 (決議をした市町村のみ)</p> <p>県産品の優先使用について、「県産品愛用宣言決議」をしていただき感謝を申し上げます。なお、今後も引き続き県産品の優先使用について啓蒙啓発に努めていただきますようお願い申し上げます。</p>
	[5団体]	



南風原町議会



西原町



西原町議会



中城村



中城村議会



北中城村



北中城村議会



宜野湾市



宜野湾市議会



浦添市



浦添市議会



沖縄県花卉園芸組合



北谷町



北谷町議会



嘉手納町



嘉手納町議会



沖縄市



沖縄市議会



うるま市



うるま市議会



読谷村



読谷村議会



恩納村



恩納村議会



金武町

要請訪問 7月11日(月)・12日(火)・13日(水)・14日(木)・15日(金)

2016年 県産品奨励月間



県産品の自給率向上は県内の産業と雇用に大きな効果を生み出す



金武町議会



宜野座村



宜野座村議会



名護市



名護市議会



本部町



本部町議会



今帰仁村



今帰仁村議会



国頭村



国頭村議会



大宜味村



大宜味村議会



東村



東村議会



石垣市



石垣市議会



石垣港湾事務所



八重山事務所



八重山土木事務所

八重山農林水産
振興センター

竹富町



竹富町議会



与那国町



北大東村



北大東村議会



南大東村



南大東村議会



伊平屋村



伊平屋村議会



伊是名村



宮古島市



宮古島市議会



宮古事務所



宮古土木事務所

宮古農林水産
振興センター

平良港湾事務所



多良間村



多良間村議会



渡嘉敷村

要請訪問 7月15日(金)・19日(火)

2016年 県産品奨励月間

県産品の自給率向上は県内の産業と雇用に大きな効果を生み出す



渡嘉敷村議会



渡名喜村



渡名喜村議会



座間味村



座間味村議会



久米島町



久米島町議会



伊江村



伊江村議会



粟国村



粟国村議会

meiji
明治グループ

県民の健康と生活文化の創造に貢献する

沖縄明治乳業株式会社

〒901-2502 沖縄県浦添市牧港1-65-1 TEL(098)877-5274

おいしい幸せ
おきこ

株式会社 沖縄トータルサービス

代表取締役社長 大城 守 広
Morihiro Ohshiro

〒901-0305 沖縄県糸満市西崎町4丁目17番地19
TEL (098) 994-9948・FAX (098) 994-9983
<http://totaldashi.com>



“県産品”トイレベース【耐水仕様】・アルミパーテイションメーカー



沖縄三和シヤッター株式会社

代表取締役社長 尾上 裕昭

〒901-0212 豊見城市字平良 84-1
本社 TEL.(098)840-5538 沖縄北営業所 TEL.(098)965-5538
製造部 TEL.(098)965-5151 石垣営業所 TEL.(0980)83-3838
<http://www.okinawa-sanwa.co.jp/>

(一社)プレハブ建築協会 PC部材品質認定取得
プレストレストコンクリート構造物メーカー



沖縄ピーシー株式会社

代表取締役社長 宮 憲男

〒900-0029 沖縄県那覇市旭町112番地1(金秀ビル西館2階)
本社/TEL(098)868-3050 FAX(098)868-3051

コンクリート製品の製造・販売及び施工
日本工業規格認証取得工場 ISO9001審査登録(認証)

Riukon Co., Ltd.

代表取締役社長 大城 正治

〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那霸1187番地
TEL: 098-945-3778(代) FAX: 098-945-5065www.riukon.co.jp リウコン 検索

● 那覇市 平成27年度主要建設資材の県産品使用状況

資材名	単位	使用量(a)	県産品使用量(b)	割合(b/ax100)
鉄筋	t	6,623.8	6,623.8	100%
セメント(生コン除く)	t	886.8	884.8	99.8%
アルミサッシ	m ²	6,867.7	6,719.7	97.8%
塩化ビニールパイプ	m	14,534.0	11,517.5	79.2%
鋳物製品(マンホール、グレーチング)	枚	1,348.0	1,093.0	81.1%
コンクリート2次製品(杭)	本	186.0	186.0	100%
ワイヤメッシュ	m ²	12,427.9	12,427.9	100%
FRP浄化槽	基	0	0	0
高架水槽	基	0	0	0
アルミ形材	t	0	0	0
PC橋桁	t	0	0	0

● 豊見城市 平成27年度主要建設資材の県産品使用状況

資材名	単位	使用量(a)	県産品使用量(b)	割合(b/ax100)
鉄筋	t	55.8	51.3	91.9%
セメント(生コン除く)	t	25.1	25.1	100.0%
アルミサッシ	m ²			
塩化ビニールパイプ	m	10,572.8	2,319.9	21.9%
鋳物製品(マンホール、グレーチング)	枚	167.0	130.0	77.8%
コンクリート2次製品(杭)	本	273.0	273.0	100.0%
コンクリート2次製品(ハンドホール・地中埋設標柱)	基	41.0	41.0	100.0%
ワイヤメッシュ	m ²	1,526.9	1,526.9	100.0%
FRP浄化槽	基			
高架水槽	基			
アルミ形材	t			
PC橋桁(プレテンション方式)	t	807.4	807.4	100.0%

● 浦添市 平成27年度主要建設資材の県産品使用状況

資材名	単位	使用量(a)	県産品使用量(b)	割合(b/ax100)
鉄筋	t	228.2	228.2	100.0%
セメント(生コン除く)	t	142.5	142.5	100.0%
アルミサッシ	m ²	0.0	0.0	0
塩化ビニールパイプ	m	1,330.8	1,279.8	96.2%
鋳物製品(マンホール、グレーチング)	枚	229.0	229.0	100.0%
コンクリート2次製品(杭)	本	50.0	50.0	100.0%
ワイヤメッシュ	m ²	1,489.6	1,489.6	100.0%
FRP浄化槽	基	0.0	0.0	0
高架水槽	基	0.0	0.0	0
アルミ形材	t	0.9	0.9	100.0%
PC橋桁(プレテンション方式)	t	456.3	456.3	100.0%

● 北谷町 平成27年度主要建設資材の県産品使用状況

資材名	単位	使用量(a)	県産品使用量(b)	割合(b/ax100)
鉄筋	t	349.42	349.42	100.00%
セメント	t	221,584.04	221,584.04	100.00%
アルミサッシ	m ²	0.00	0.00	
塩化ビニールパイプ	m	1,303.00	649.00	49.81%
鋳物製品	枚	145.00	145.00	100.00%
コンクリート2次製品	本	80.00	80.00	100.00%
ワイヤメッシュ	m ²	2,169.00	2,169.00	100.00%
FRP浄化槽	基	0.00	0.00	
高架水槽	基	0.00	0.00	
アルミ形材	t	0.00	0.00	
PC橋桁	t	0.00	0.00	

● 北中城村 平成27年度主要建設資材の県産品使用状況

資材名	単位	使用量(a)	県産品使用量(b)	割合(b/ax100)
鉄筋	t	1	1	100%
セメント(生コン除く)	kg	1,625	975	60%
アルミサッシ	m ²	0	0	0%
プラスチック製パイプ	m	1,625	1,560	96%
鋳物製品(マンホール、グレーチング等)	枚	214	209	98%
コンクリート2次製品(杭)	本	0	0	0%
ワイヤメッシュ	m ²	0	0	0%
FRP浄化槽	基	0	0	0%
高架水槽	基	0	0	0%
アルミ形材	t	0	0	0%
PC橋桁(プレテンション方式)	t	0	0	0%

残暑お見舞い申し上げます。



きもち、つつみ、つながる。
KAKAZ
株式会社 嘉数グラビヤ

糸満市西崎町 5-3-6 西崎工業団地内
TEL. 098-992-4011 FAX. 098-994-2294
HP: <http://kakaz.info/>

必要な時に、必要な商品を適正な価格でご提供いたします。



人の手のぬくもりが
原点です。

県産品を心で包むお手伝い。

株式会社 **ざまみ与コホール**

工場 TEL. 098-992-1616 糸満市西崎町4丁目7番
FAX. 098-992-1155



ビニールパイプ
ポリエチレンパイプ 製造販売

県産品を愛用しましょう。

沖水化成株式会社

代表取締役 岸本 力

本社 〒904-2162 沖縄市海邦町3-14
TEL.(098) 982-1371 FAX.(098)921-2336

あなたの日常に個性豊かなアートガラスをプラスして下さい。

ONNA LOGO GLASS

Glass craft learning center

恩納ガラス工房 0120-34-1598

株式会社 恩納ガラス工芸育成センター

本社／沖縄県恩納村字富着85番地
TEL.098-965-3090 FAX.098-965-5841
MAIL／info@onna-glass-okinawa.co.jp

<http://www.onna-glass-okinawa.co.jp>

歴史に生まれ 暮らしに磨かれ
職人の技と偶然が生み出した味わいが
今なお人々に愛されています。



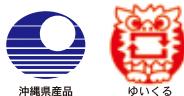
株式会社ホクガン



マンホール鉄蓋で郷土の環境作りに奉仕する
沖縄鋳鉄工業株式会社

沖縄県リサイクル資材評価認定
マンホール鉄蓋 第17-1号 再生プラスチック第11-2号

代表取締役
眞志喜 実



西原町字小那霸958番地
TEL.(098)945-5453 FAX(098)945-5924



琉球ガラス村

ハイウェイ沖縄



FRP関連商品

FRP検査路・合成床板・飛来塩分遮断板・マンホール

秀金秀鉄工株式会社

代表取締役社長 川満 彦三

〒903-0118 沖縄県中頭郡西原町字小波津567番地
TEL.098-945-3351 FAX.098-945-9974

- オキポール ●沖縄ハイポール ●照明・防球ネット用ポール
- 防災無線・携帯電話アンテナ用ポール ●ポール建柱工事施工一式
- 都市景観美化用コンクリート製品全般 ●PHC・CPRCパイ爾
- 高支持力杭工法及び各種杭打工法の施工 ●C.C.BOX(電線共同溝)
- その他地中化製品 ●テールアルメ工法(補強土壁工法)
- プレキャスト製品の設計・製造販売・施工



沖縄テクノクリート株式会社

代表取締役社長 仲本 幸文

本 社／〒900-0003 沖縄県那覇市字安謝620番地 TEL.(098) 868-2522
海邦工場／〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦町3番地1 TEL.(098) 934-5512

沖縄県コンクリート
二次製品協同組合

理事長 大城 保一

副理事長 又吉 安弘

副理事長 新垣 力太

沖縄県宜野湾市大山7-3-16 TEL(098)898-7785(代)

卓越した味わいを皆様の食卓へ。


株式会社 沖縄ホーメル®

代表取締役社長 比嘉 昌治



信頼で創るより良い環境

OKIDENSU 電気設備工事・電気通信工事・消防施設工事 施工
沖電水工事株式会社

代表取締役 小波津 聰

本 社 〒900-0016 那覇市前島2丁目1番10号 TEL(098)867-6311(代) FAX(098)868-3282
西原営業所 〒903-0117 西原町翁長240-1 TEL(098)945-4742 FAX(098)945-4728



ダンボール・パッケージの
総合紙器
(098)992-1111

県内企業訪問

ふるさと企業 県産建材・リサイクル関連企業



「ふるさと企業訪問」の一環である

「ふるさと企業訪問」及び「県産建材・リサイクル関連企業訪問」が7月20日(水)、22日(金)、27日(水)におこなわれました。

これは、県内企業を訪問してもらい、地場産業への理解を深めることを目的に毎年実施しているもので、今年も県内企業26社を訪問しました。

ふるさと企業訪問〈7月22日・7月27日〉

参加者の声

● 対象／県産品奨励月間実行委員会構成団体・一般・親子

★沖縄の企業がこんなに頑張っていると知ることができました。4つの企業すべて良かった。特に昭和製紙と

ざまみダンボールは勉強になりました。県産品は素晴らしい、今後も頑張ってほしい。応援したい。★色々と勉強になった。次も参加してまた知識をもっと増やしたい。

★このようなく場見学は滅多にないのでとても良い経験になった。★昭和製紙での「話題リサイクル」を聞き、また製品を使う気になりました。★自由研究で使えるのでよかったです。★新聞はただ目を通すだけでは、作つている人たちは細かいことも気にしているのだと感じました。★今日は楽しい一日を過ごせました。県民として県産品の使用を重視したいです。★毎回楽しみに参

加しています。本日も充実した一日でした。早速県産品(ヘリオスのくら)を買って帰りました。★県産品の素晴らしさを知ることができました。これからも県産品を意識して使いたいと思いました。★色々な工場を見学できて楽しかったです。工場ごとに動画もあつたりして分かりやすかったです。★工場見学で色々な発見もあり、知識が増えた気がします。おもしろかったです。★良志

沖縄の企業が本土と変わらないくらい頑張っていることが出来上がるまでの工程が見れてとてもよかったです。★川火



沖縄タイムス社蒲添印刷センター



沖縄森永乳業(株)



(株)恩納ガラス工芸育成センター



沖縄明治乳業(株)



(名)新里酒造



光文堂コミュニケーションズ(株)



(有)沖縄長生薬草本社



昭和製紙(株)



オリオンビール(株)



ヘリオス酒造(株)



まさひろ酒造(株)

は、「一般参加者と親子を対象に7月1日の「県産品の日」の新聞両紙で募集。全4コースに応募した102名の方が参加しました。夏休みに入ったこともあり、多くの親子連れや一般の参加者で賑わいました。

22日(金)に実施された「県産建材・リサイクル関連企業訪問」は、県内の関連

企業についての認識を深める目的で、県・市町村の土木建築担当課や建築関連団体の会員を対象に開催。全2コースに59名の参加者がありました。

22日(金)に実施された「県産建材・リサイクル関連企業訪問」は、県内の関連事務所・アジア経済戦略課・市町村からも見られました。

参加者の声

県産建材・リサイクル関連企業訪問(7月22日)

対象／国・県・市町村及び団体等の土木建築関係者

★各企業の工夫を感じられて、また説明者の熱意を感じる素晴らしい企画だと思います。今後ともこの見学会が継続されて益々発展することを期待しております。★熱意を感じた。おもしろかった。★沢山のコースを見てみたいと思いました。来年もお願いいたします。★各社とも、とても丁寧な説明で分かりやすかったです。特に積水化成品の発泡スチロールのブロックは地震時の危険性を大幅に軽減できると思った。★各事業所ともよく前向きに会社発展のために頑張っている事がうかがえた。品質・性能の向上をさらに高めて安全で安心して県民が活用できるよう取り組んでもらいたい。★直接企業を訪問することで、県産品の良さが伝わると実感しました。また、機会があれば参加したいです。★高性能コンクリート(フライアッシュ)についてとても参考になった。今後の発注に役立てたいと思った。★すごく感動しました。一般的県民・企業の皆様も工場を見れば、沖縄にもっと誇りが持てる現場であると感じました。★失業率を下げるよう、自立できるよう「県産品」産業力が上がればいいと思います。★ふるさと企業訪問は県産品奨励の周知に寄与するものと感じました。実際に見て感じることで意識啓発・県産品愛用の向上につながると思います。★セメントや塩化ビニルなど身近にあるがよく知らない工業製品の製造過程や設備などを変興味深く見学させていただきました。また、沖縄県産品を生み出す技術力と理念に県民として頼もしさを感じました。★トリムのスーパー・ソルは沖縄発の技術であり、県内外にどまらず世界的にも広がる機会を導入している海邦ベンダー工業の工場が印象に残りました。また、琉球セメントの説明で、県内で生産するセメントに占めるリサイクル材の割合が

低い背景に、リサイクル産業が発展していないという県の実情を知る事が出来て勉強になりました。★海邦ベンダー工業では、様々な注文に対応できる設備が整っており、当社にしか頼めない製品もあると思うた。★トリムでは廃ガラス・ビンから良質な路床が作られており、活用したいと思った。★沖縄ビーザーではプレストレストコンクリートが構造的に強いことが勉強になった。★沖水化成では塩ビ管も再資源化できることに驚いた。★各社のリサイクルへの取り組みが進んでいると感じました。★各社が沖縄県内の資材・材料を再利用して地域の活性化につなげる取り組みを行つてることに感銘を受けました。工事発注の際には、県産品を使用できるようにしたいと思いました。★海邦ベンダー工業のレーザー切断加工を近い距離で見学でき、すごいと思いました。1mm厚のステンレス板を高速でプログラムされた図柄に切断するデモを見て良かったです。★琉球セメントが廃棄物利用で環境に配慮した事業を行つてることを知りませんでした。素晴らしい取り組みだと思いました。★発注する際、どういったコンテンツがあるのかを中々知ることができない状況で、こういった機会はそれを知ることができ、発想を与えてくれる良い体験となりました。★工場の見学をすることがなかつたので、品質管理等を生で見る事ができ大変よかったです。★想像していたよりも、技術力のある企業が県内にあると分かった。★県内でも特許を取得したりサイズがあり、県内から全国・海外へと発信している。リサイクル製品があることを当企画で知ることができとても有意義であった。



(株)トリム



沖縄ビーザー(株)



(株)リュウクス



沖縄鉄工業(株)



沖縄電力(株)具志川火力発電所



(株)積水化成品沖縄



金秀アルミ工業(株)



(有)みのり



(有)海邦ベンダー工業



沖水化成(株)



琉球セメント(株)



歩道と車道の境界として、バリアフリー対応の「ゆいバーサル縁石」



**キラリ!
元気
カンパニー**
沖縄の未来を
照らす企業

地域をバリアフリーに 「ゆいバーサル縁石」開発

沖縄県コンクリート二次製品協同組合

障がい者の声に耳を傾け
誰もが住みやすい街づくりを目指す

沖縄県コンクリート二次製品協同組合は「コンクリート二次製品」を主に手掛ける県内11社11工場で組織されており、それぞれの技術と知識を共有することにより、数々の製品を開発してきました。

本体に切り込みを設けることにより雑草の生長を止める「防草ブロック」や、道路幅員の有効利用、施工性、メンテナンス性向上が可能な「R.P.U側溝」、雨水が溜まりにくく滑り止め模様で歩行性もよい、「N.V側溝」など、昭和54年の設立からこれまでの間に開発した製品は数多く、県内各所で有効利用されています。

昨年10月より、歩道境界ブロックの新製品「バリアフリー対応縁石」の開発が開始され、今年4月に北谷町宮城にて試験施工となりました。

これには「ゆいバーサル縁石」という名称が付けられ、車いすで横断歩道を渡る際に車輪が段差にかかることがなくスムーズに進行するため歩道と車道との段差をなくしたものであり、沖縄県の道路のバリアフリー化を実現する製品と注目されています。

県内の道路と歩道の間には約2~5cmの段差があり、自転車や車いすの車輪が引っかかり転倒の原因となることも多かつたといいます。ゆいバーサル縁石はこの段差をなくし、縁石をゆるやかなスロープ状にしています。雨天時に滑ることのないよう、

滑り止め防止用の溝を設け、さらに従来の製品にはなかった直径3cmの突起を縁石の歩道側につけることで、視覚障がい者に車道と歩道の境界をわかりやすく伝える工夫もされています。ショッピングカートやベビーカーも滑らかに移動することができ、老若男女すべてにとって快適さを追求した製品となっています。

開発にあたった同組合の上地勝男営業課長は「車社会の沖縄ではなかなか気づかないが、障がいを持つ人にとって県内の道路は段差が多く不便であり、ときには転倒の危険もある」と話します。これらの問題の改善を訴える障がい者団体の声に応えるかたちでバリアフリー対応縁石の開発がはじまり、幾度かの改変を繰り返しながら試験施工へと辿り着きました。

開発のきっかけを作った障がい者団体NPO法人バリアフリーネットワーク代表親川修氏は実際に北谷町宮城の試験施工現場を訪れ、「段差がなくなることで、これほど快適になると感動した。このような発想が今まで出てこなかつたのが不思議だ」と話しています。

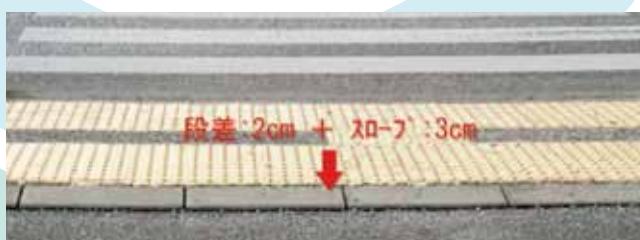
世界的にも欧米などで使われている技術である一方、日本国内においては車道と歩道の間に境界ブロックを必ず入れなくてはならないというガイドラインが定められています。交通バリアフリー法やそれに伴う国土交通省の基準通達、ガイドライン策定を受けて慎重に開発が進められました。従来品とはサイズが異なるため、基本的に新規道路工事に限つての導入と



今回、取材に応じていただいた
沖縄県コンクリート二次製品協同組合
上地 勝男 営業課長



「ゆいバーサル縁石」の施工例:北谷町浜川漁港



省令に合わせた歩車道境界〈歩道乗入部・車両乗入部〉



〈歩道乗入部〉

〈車道乗入部〉



現在の沖縄県の歩車道境界〈歩道乗入部・車両乗入部:写真左〉に比べ、「ゆいバーサル縁石」(写真上)は段差が少なく、認識しやすい構造になっているのがわかる。



なりますが、付加価値の高さが認められ、導入を検討する自治体も増加傾向にあるといいます。

「沖縄は観光立県であり、大きなキャリアバッグを引いて歩く観光客の姿を見かけることが多い。ストレスなく歩行できる」とで「オンラインステイや消費増加にもつながる」と、沖縄県の経済への好影響も組合はアピールしています。

小さな村や弱者の声に耳を傾け困っている人々に光をあてる

その付加価値に比べて価格が従来品の5%増と低く抑えられていることも、「ゆいバーサル縁石」の特徴のひとつです。組合として資金や技術をシェアする」とによってコストダウンに成功しています。

「公共工事も減少傾向にある今は、高価なものを持たざるを得ない時代ではない。より深い「一揆を掘り起こし、困っているひとたちにスポットをあてた製品開発が必要」と上地氏は話します。

騒音を最小限におさえる防音機能付RPU側溝や「歩行者の交通事故防止」にもつながる防草ブロックといった現存製品にも共通するテーマが「住みやすい街づくり」であり、「都市部ばかりでなく郊外の地域にもしっかりと目を向けていきたい」としています。

また、「コンクリートが人体に悪影響を与えるといったネガティブなイメージを持つ人もいるがこれは誤解であり、現代社会

においてコンクリートはなくてはならないものである。ただし、当然ながら資源には限りがあり、最小限度の使い方にこだわるべき」として、一般家庭から出るごみを燃やした際に出る燃えカス「溶融スラグ」のリサイクルなど、環境に配慮した製品開発にも力を入れています。ゆいバーサル縁石の普及により自転車での通勤、通学が増えれば、CO₂の削減につながるとも考えています。



沖縄県コンクリート二次製品協同組合

業種 コンクリート二次製品等の開発
設立 昭和54年10月16日
代表者 理事長 大城 保一
住所・連絡先 宜野湾市大山7-3-16
TEL.098-898-7785・FAX.098-898-7789
オフィシャルサイト <http://www.oki2con.com>

県外企業の進出による価格競争も激化している中で、沖縄県の企業にしか作れないものや地元で生活する人の目線でしかないことのできないことを重視することで競争力を高めています。

「現在試験施行中であるゆいバーサル縁石の普及に取り組む」と、我々の理想である安全で快適な社会環境の実現に一歩近づける」と、上地氏は新製品への自信をみなぎりせつました。

沖縄の物産と観光フェアinライカム

平成28年7月2日(土)

6月30日(木)～7月4日(月)までの5日間、北中城村のイオンモール沖縄ライカムにて「沖縄の物産と観光フェア」が開催されました。地産地消の推進と県産品の販路拡大、また沖縄観光の推進を図る目的で昨年に続き第2回目の開催となります。

イオンモール沖縄ライカム1階ライカムグランドスクエアでは、県内各事業所による県産品の販売や家族で楽しめるワークショップが行われ、また、多くの家族連れや観光客でにぎわいました。

イオン琉球株式会社代表取締役社長坊

池学氏、沖縄県工業連合会副会長仲田龍男氏、沖縄観光コンベンションビューロー

常務理事譜久山健氏、沖縄県衣類縫製品

工業組合副理事吉田康秀氏らが出席した

オープニングセレモニーでは、沖縄市エイ

サー隊の演舞や音楽ライブなどのイベン

トも同時開催され、また、沖縄県農林水産

物マスコット「イーサーくん」のゆるキャラ

やミス沖縄、泡盛の女王も参加し、県産品のPRに務め、盛況となりました。

主催者を代表して、坊池氏は「沖縄のよいものをたくさんの方に知つていただく機会となれば」と挨拶し、県産品の愛用を促しました。



会場では、工芸品の販売やカップフラワーの製作体験コーナーもあり、多くの人でにぎわいました。



イオン琉球株式会社
代表取締役社長 坊池 学氏



(公社)沖縄県工業連合会
副会長 仲田龍男氏



(一財)沖縄観光コンベンションビューロー^{常務理事} 譜久山 健氏 沖縄県衣類縫製品工業組合
副理事長 吉田康秀氏

平成28年度沖縄県産業・雇用拡大県民運動 推進功労者表彰に係る受賞者決定

平成28年7月29日(金)

雇用情勢を改善し完全失業率を全国並みにするため、平成19年度から展開している沖縄県産業・雇用拡大県民運動（みんなでグッジョブ運動）の一環として、「沖縄県産業・雇用拡大県民運動推進功労者表彰」を実施しています。

産業と雇用の拡大及び雇用の質の向上につながる取り組みを広く普及させることを目的に、またその推進について顕著な功績を残した人物、団体へ贈られるものであり、今年度は株式会社ざまみダンボールをはじめとする4団体、2個人が選出されました。

県庁で行われた表彰式では浦崎唯昭沖縄県副知事より受賞者へ表彰状が授与されました。

浦崎副知事は、「沖縄県における完全失業率は4%台水準へと大きく改善されつつあるものの、全国的な水準に達しているとはいわず、より一層の取り組みが必要」としたうえで、日頃から積極的な雇用を実践、推進している受賞者に対し感謝と尊敬の念を表しました。



浦崎副知事(写真左)より表彰を受ける(株)ざまみダンボール代表取締役社長 座間味 熱氏(写真右)

沖縄県との県産建設資材優先使用に関する意見交換会

平成28年7月29日(金) 沖縄県庁13階1・2会議室

7月1日の那覇市国際通りでのパレードを皮切りに、県産品奨励月間として約

1ヶ月間、県内各地で県産品使用をPRするための様々な事業が実施されてきました。その集大成として、月末の7月29日、沖縄県工業連合会を中心とした県内企業を代表する一団が沖縄県庁を訪問、県産建設資材に関する意見交換会が開催されました。参加者を代表し、工業連合会の吳屋会

長が挨拶し、これまでの県の支援に感謝

を表しながらも、「沖縄県経済の活性化のために製造業の自給率は重要であり、県産建設資材が優先的に使用されることによりて生産誘発額、雇用者誘発数の増加も期待できる」として、さらなる県の協力を求めました。

また、沖縄県からも、土木建築部、農林水産部、教育長、企業局、商工労働部から職員が出席し、企業の要望に耳を傾けました。

商工労働部産業雇用統括官新垣秀彦氏は、県内企業13社からのプレゼンテーションや吳屋会長をはじめとする役員からの要望を受け、「沖縄県のものづくりの技術には素晴らしいものがあり、県の産業を守るためにも公共工事の県内企業への優先発注、優先使用を進めていきたい」と前向きな取り組みを約束しました。

また、リース・保険等のサービス業に係わる県産品優先使用基本方針への適応についての進捗状況や、MICE施設整備事業に関するスケジュールの提供を要望するなど、サービス業及び建設業においての重要案件について意見交換をすることができました。

県の担当者に直接意見を述べ、討論できる貴重な機会だけに、企業代表者からも各業種に特化した要請や嘆願が出るなど、活発な意見交換が行われました。沖縄県、企業ともに手を携えて県経済活性化に向けての取り組みをしていくことを確認し、県産品奨励月間の締めくくりとしてふさわしい会となりました。



(公社)沖縄県工業連合会
会長 吳屋 守章氏 沖縄県商工労働部
産業雇用統括監 新垣 秀彦氏



各企業から製品についてのプレゼンテーション

第45回 沖縄県発明くふう展 作品募集

【趣旨・目的】

日常生活から産業技術にわたる各分野において、独創性に富む発明・考案・意匠を広く県民に紹介し、その実施化を促進すると同時に相互利用を図ることにより、県民生活の向上及び県内産業の発展に寄与することを目的とする他、発明の奨励と知的財産の普及啓発活動を行う事により、県民の知的財産への関心を高め知的財産カルチャーの醸成を図る。



応募方法について

■応募対象

特許・実用新案・意匠

■応募資格

沖縄県内に在住又は居所を有する者で、発明者、考案者及び創作者又は出願人

※発明者、考案者及び創作者と出願人あるいは権利者が異なる場合は相手方の承諾を得て下さい。

※応募作品は1人2点を限度とします。

※過去に同展示会に出演した作品は対象外です。

※同展示会に出演後、改良を加えた作品は初回を含め2回までの出展を限度とします。

※展示会へ出演後は公知となりますので、応募前に出願を済ませてください。

■応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入の上、当協会へ提出。

※応募用紙は、当協会ホームページからダウンロードいただくか、お電話にてご請求下さい。

※ご提出いただいた応募書類は返却いたしません。

■準備するもの

- ①公開又は登録されているものは、その公報を1部、出願中のものは出願書類のコピーを1部添付。
- ②応募作品(原則、実物又は模型で重さ50kgまでの物。不可能な場合はパネル展示でも可)
- ③商品説明・お問い合わせ先が記載されたもの(パンフレット、チラシ、名刺等)

■出展料

発明協会会員10,000円(2点目20,000円)／非会員20,000円(2点目20,000円)

コンセント使用300円(電気の三相工事は別途料金が発生します。)

作品受付期間

平成28年
7月19日(火)
▼
9月16日(金)

産業まつりでの展示について

■展示スペース

展示スペースは1作品につき、会議用テーブル1台(180cm×60cm)の範囲内です。

但し、大型作品は屋外展示になりますのでご相談下さい。



沖縄県発明くふう展
会場展示の様子

■審査会・賞の種類

審査会期日:平成28年10月20日(木)

賞の種類:特・実 知事賞(最優秀賞1点、優秀賞1点)・会長賞3点
意匠 知事賞(最優秀賞1点、優秀賞1点)・会長賞1点

■展示期間 平成28年10月21日(金)～23日(日)10:00～19:00

沖縄県立武道館・アリーナ棟(沖縄の産業まつり会場内)

※展示会期間中は大勢の来場者があります。

作品管理はPRを兼ねてご自身でご対応をお願い致します。

■表彰式 平成28年10月23日(日)(予定)

申込み・お問い合わせ先

一般社団法人 沖縄県発明協会

〒904-2234沖縄県うるま市宇州崎12-2沖縄県工業技術センター内

●mail: jiii47@okinawa-jiii.jp ●URL: <http://www.okinawa-jiii.jp> TEL.098-921-2666・FAX.098-921-2672

琉球大学工学部後援会からのお知らせ



琉球大学医学部との共同研究について

長田康敬(琉球大学工学部 電気電子工学科・教授 ngt@eee.u-ryukyu.ac.jp)

私の計算知能工学教室では、数理論理学をはじめとしたコンピュータサイエンスから符号論理、耐故障システム、人工知能に至るまで多岐にわたる研究を行っています。最近では機械学習を含んだ音声処理や画像処理、拡張現実(AR)などの学生に受けの良いテーマも扱うようになってきました。

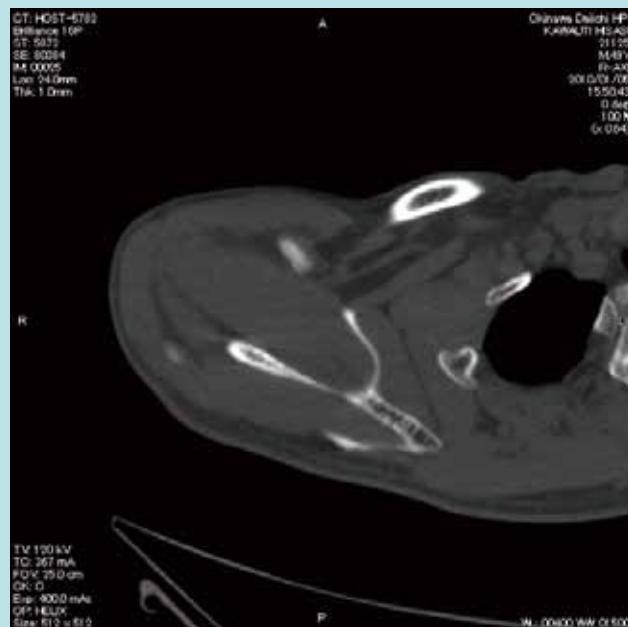
そんな折、数年前から医学部の形成外科の神谷先生や山口先生と肩関節や脚関節の画像処理の研究が始まりました。沖縄県ではオジー、オバーがよく転倒されて、大けがをいたします。私の父も母も仲良く転んで足を折ってしまいました。

そこで形成外科の先生に助けてもらうわけですが、その前にCT-スキャンされたダイコムフォーマットという形式の画像を診て、手術するわけです。

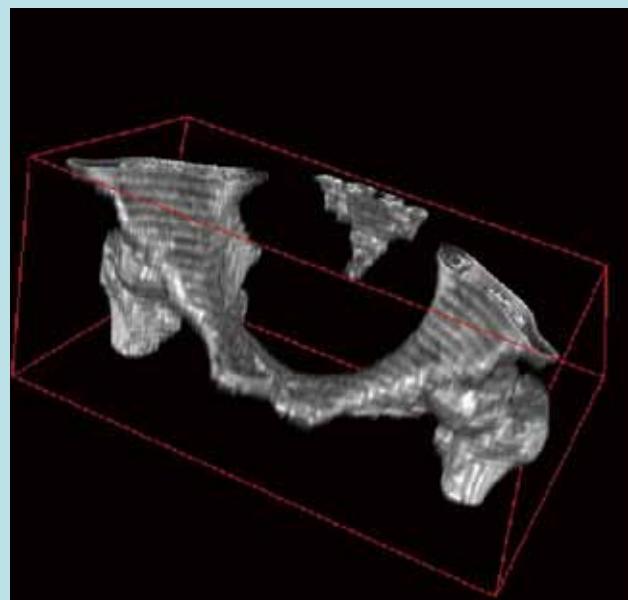
肩関節だけでも1日8件の手術をされるそうですので、診断に役立つ画像が大切な情報源でもあります。

我々はこのダイコムフォーマットのデータを許可を得て入手し、できるだけ滑らかな画像とするとともに、左右、上下に回転するような処理を施したり、拡大、距離の計測などが行えるよう工夫いたしました。今後とも様々な処理内容が要求されると思います。最後に、一番大事なことは転んだりケガをしないようウニギーサビラ。

(ながたやすのり)



【図1: 肩関節の処理画像】



【図1: 股関節の立体画像】

琉球大学工学部後援会事務局

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 TEL:098-895-8719 FAX:098-988-4614



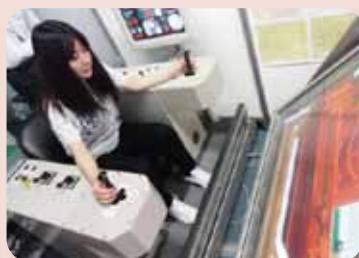
物流情報科のご案内

流通業界をはじめとするあらゆる産業分野において、「物流の専門スタッフ」として、指示待ち型ではなく、失敗を恐れず新しい試みを積極的に提案し、実行に移せるような人材が求められています。物流情報科は、輸送・配送・荷役・保管等の物流管理、貿易実務、販売管理、情報管理等を学び、グローバル化に対応した人材の育成を目指し、実践的な教育カリキュラムで、きめ細かな技術指導をしています。

充実した施設での授業風景



物流機械運転実習



ガントリークレーンシミュレータ



情報処理実習



簿記演習



貿易書類作成Webシステム



販売管理実習

卒業生の声



(株)コンピュータ沖縄 奥間政幸

私は以前からIT業界の仕事に興味があり、コンピュータ関係について学びたいという思いからITの知識や物流システムなどシステム構築関連について学べる物流情報科に入学しました。

現在は、県内の官公庁向けにお客様のニーズに合わせたシステムの提案や構築などソリューション事業に携わる仕事を行っており、物流情報科で学んだITに関する知識やスキルなどは現在の仕事にも十分に生きていると思います。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖縄職業能力開発大学校 (学務課まで)

〒904-2141 沖縄県沖縄市池原2994-2 TEL. 098-934-6282 FAX. 098-934-6287

<http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/>

沖縄高専だより Okinawa National College of Technology



定期技術相談会

沖縄高専では、平成25年4月に設置しました地域連携推進センターの取り組みの一つとして、定期技術相談会を開催しております。本相談会は、本校の教員又は技術職員が相談対応者となり、沖縄県工業連合会(産業支援センター内6階)において、毎月第3木曜日の午後に、2社を対象として個別に開催するものです。

現在までに、多数の企業の皆さんにご参加いただき、各社の技術者および本校の教職員間で活発な意見交換がなされました。引き続き、さまざまな技術課題に関して企業と本校との連携による解決が期待されます。

相談会に参加を希望される企業の皆様は、下記担当までお申し込みください。

なお、応募者多数の場合、調整させていただくこともありますので、予めご了承願います。

※現在、産業支援センターの施設工事期間中のため、コザ信用金庫様より会場(本店)をご提供いただき、開催しております。

<お問い合わせ先>

総務課研究連携推進室電話:0980-55-4070 FAX:0980-55-4012 E-mail:skrenkei@okinawa-ct.ac.jp

地域連携推進センター長挨拶

今年度から地域連携推進センター センター長を務めております 武村 史朗(たけむら ふみあき)と申します。本校に赴任して10年目になります。

「地域連携推進センター」は地域共同テクノセンターを前身とし、平成25年4月1日に新組織として改められ、設置されました。

本センターは、本校における教育研究の進展に寄与し、本校の有する人的資源、知的資産、施設を活用して、地域社会との緊密な連携や交流を推進することにより地域社会における人材の育成、科学の発展、技術開発及び産業の活性化に貢献するとともに、生涯学習、地域文化交流及び地域課題の解決支援に資することを目的として設置されました。

「知的財産」及び「生涯学習」に関する機能を有しており、また、センター業務を円滑に遂行するために「产学連携部門」、「知的財産部門」及び「生涯学習部門」を設け、より機動的に活動できる組織となっています。これまで以上に、地域社会・産業界との協力体制を強化すべく、より緊密な連携を図って参りたいとセンター構成員全員が考えておりますので、皆様の御助言、御指導を様々にいただけることを心からお願い申し上げます。



地域連携推進センター長
武村 史朗

8月のイベント

◆「楽しんで学ぼう！夏の自由研究 in カヌチャリゾート」

日程: 7月30日～8月27日の毎週土曜日

場所: カヌチャリゾート

◆わくわく実験教室 in 石垣

日程: 8月22日(月)

場所: 石垣市総合体育館

各イベントの詳細につきましては、沖縄高専ホームページなどでご案内させていただきます。



沖縄工業高等専門学校 産学連携協力会事務局 (担当:喜屋武)

〒905-2192 名護市字辺野古905番地 TEL:0980-50-0133・FAX:0980-55-4012

E-mail:sangaku@m1.cosmos.ne.jp ホームページ: <http://www.cosmos.ne.jp/~sangaku/>





工業技術センターたより Okinawa industrial technology center



企業の皆様 ぜひ使ってください!

新たに設置した精密万能試験機と構造・流体解析システムの紹介

精密万能試験機

金属や樹脂などの強度を測定することができます。今回設置した機器は伸び計を付属しており、これまで当センターで対応できなかった脆性材料などの耐力を測定したり、樹脂や炭素繊維などの伸びも測定することができます。またひずみ制御による金属材料の引張試験(JIS Z2241:2011)も可能になりました。

●主な仕様

最大負荷容量:250kN(レンジレス)
伸び測定:視野240mm
Technical News Vol.18 No.3



構造・流体解析システム

コンピュータシミュレーションを行う装置です。コンピュータ上で部材の強度などを評価する構造解析や、流体の流れや物体の温度変化を評価する熱流体解析などができます。強度試験や、風洞実験などをコンピュータ上で擬似的に行なうことができ、時間とコストがかかる試験を大幅に減らすことができます。また、いろいろなパターンのシミュレーションを行えるため、最適な設計を迅速に検討することが可能です。



●主な仕様

ソフト:ANSYS Mechanical CFD Maxwell 3D-Bundled TECS
主な機能:
○3次元形状作成機能 ○メッシュ作成機能
○構造解析(有限要素法)
○熱流体解析(有限体積法)
○電磁界解析 ○連成解析

これら機器は公益財団法人 JKA の自転車等機械工業振興事業における補助事業を活用し導入しています。利用に当たっては当センター職員が取扱方法について指導します。お気軽にお問い合わせください。

沖縄県工業技術センターは、県内製造業への技術的支援を通して産業の活性化に貢献することを使命として事業に取り組んでいます。「製品の開発に関して技術的なアドバイスがほしい」「製品の品質を上げたい」「研究開発の支援が欲しい」などの技術課題解決や新製品・新技術開発への支援が必要な場合にはお気軽に御相談下さい。

沖縄県工業技術センター (技術支援班／企画管理班)

〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎12番2 TEL:098-929-0111・FAX:098-929-0115
E-mail:kousi@pref.okinawa.lg.jp(メルマガを始めています。HPより登録ができます。)

●ホームページ: <http://www.pref.okinawa.jp/site/shoko/kogyo/index.html>

相談
無料

秘密
厳守

知的財産でお悩みの
中小企業・個人事業主・創業予定の個人の皆様
知的財産に関することなら何でもご相談ください!!

知財総合支援窓口

出願準備の支援

窓口支援担当者が出願の目的を把握し、アドバイスを行います。



海外展開を支援

海外展開における戦略の策定や契約の際に必要な知財に関するアドバイスを行います。



商標に関する支援

ネーミング・マークの権利化などに関する支援します。また、地域団体商標に関しても支援します。



社内知財体制を整備

営業秘密管理体制や社内規程の整備など企業内における法的問題について説明、助言を行います。



インターネットによる出願を支援

知財総合支援窓口に設置した電子出願共同利用端末機によりインターネット出願を支援します。



知財活用の支援

経営課題を明確にし、その解決のための知財活動を専門家チームが支援します。



外部技術とのマッチング

求めている技術内容を把握し、大学や研究機関とのマッチングを支援します。



幅広い相談に対応

知財関連の支援が必要な場合（補助金、技術支援、試作支援等）は、他の支援機関と連携し支援します。



専門家派遣支援

中小企業等へ直接訪問する必要があると判断した場合は、企業へお伺いし支援します。また、継続的な支援が必要な案件は最大5回まで訪問支援します。

専門家派遣支援

- 地理的な理由で知財総合支援窓口に来訪することが困難
- 中小企業等の業務時間の関係で知財総合支援窓口に来訪することが困難
- 複数の相談者がいるため知財総合支援窓口に来訪することが困難
- 機械設備等を直接確認する必要がある
- 緊急に対応する必要がある
- その他直接訪問指導する必要があると判断した場合



お問い合わせ先

知財総合支援窓口（一般社団法人沖縄県発明協会）

〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎12-2

全国共通



0570-082100 (有料)

TEL 098-995-8778 FAX 098-921-2672

URL <http://www.chizai-oki.jp/> MAIL info@okinawa-jiii.jp

フレッシュ&バラエティ
オキコパン

焼くと
サクサク
もちもち!

もちもち食感

Enjoy Plate-Bread!

山型タイプ

5枚